

町田市と小田急電鉄は、 小田急線町田駅周辺まちづくりの検討に協働で着手します ～駅周辺まちづくりの検討に関する協定を締結しました～

町田市と小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、小田急線町田駅の駅周辺まちづくりについて、協働で検討することに合意し、協定を締結しました。

現在、小田急線町田駅は、全線で第2位となる一日約30万人の乗降客を抱えています。周辺にはJR横浜線町田駅や、都内第2位を誇る発着数の路線バスが集まるバスセンターなどを有する一大ターミナルです。2018年3月に完成した小田急線の複々線化によって、小田急線町田駅から都心方面へのアクセスが大幅に向上するなど、利便性が飛躍的に高まっています。

町田市では、多摩都市モノレールの町田方面延伸を目指しており、モノレールは町田市と多摩地域を結ぶ新たな交通モードとして様々な交流を創出し、これからの町田市の発展には欠かせないものです。特に小田急線町田駅周辺は、さらに魅力を高め、選ばれ続けるまちへと大きく改変する最大のチャンスです。

こうしたなか、町田市と小田急電鉄は、本協定の締結により、快適に利用できる小田急線町田駅周辺まちづくりの実現に向けて、連携・協力し、検討を始めることとなりました。

今後は定期的な検討会などを通じて、同エリアが地域活力を創出する拠点的な役割を果たすことを目指し、検討を進めてまいります。



小田急線町田駅周辺

町田市と小田急電鉄との協定締結

連携・協力の主な取組内容

小田急線町田駅を含む駅周辺エリアが地域活力を創出する拠点的な役割を果たすことを目指し、多摩都市モノレール町田方面延伸を見据えた小田急線町田駅周辺まちづくりの検討について、連携・協力して取り組みを行ってまいります。

【取組内容】

- 多摩都市モノレール町田方面延伸を見据えた、小田急線町田駅周辺エリアを対象としたまちづくりに係る検討
- 小田急線町田駅周辺エリアにおける交通利便性向上に関する検討

【取組の範囲】

